

令和4年度第1回碧南市地域包括支援センター運営協議会・第1回碧南市認知症初期集中支援チーム検討委員会 議事録

1 日時

令和4年6月24日（金）午後1時30分から15時

2 場所

碧南市役所 2階 談話室3

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者（9名）

河原厚司、三島博、柴田学、長田和久、杉浦龍一、池田史明、中島信博、藤井ユイ子、磯貝靖子

(2) 欠席者（1名）

深津茂樹

(3) 事務局等職員

事務局

健康推進部長 山田昌宏、高齢介護課長 鈴木美奈子、課長補佐 杉浦洋子  
認知症初期集中支援チーム

地域支援係担当係長 杉浦あゆみ

碧南社協地域包括支援センター

保健師 伊盛美代子、主任介護支援専門員 成瀬京子

碧南東部地域包括支援センター

主任介護支援専門員 杉浦糸子

碧南南部地域包括支援センター

主任介護支援専門員 中根千勢子

4 傍聴者

0人

5 会議成立確認

過半数（9名）出席により成立

6 議題

地域包括支援センター運営協議会

(1) 令和3年度地域包括支援センター運営状況について [資料1] P.1～

- (2) 令和3年度地域包括支援センター決算状況について [資料2] P. 8～
- (3) 令和3度高齢者虐待対応について [資料3、4] P. 11～
- (4) 令和4年度事業計画及び予算について [資料5] P. 20～
- (5) 第一号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業を委託できる居宅介護支援事業所の承認について [資料6] P. 40～

#### 認知症初期集中支援チーム検討委員会

- (1) 認知症初期集中支援チーム活動について [資料7] P. 41～

### 7 議事の要旨

#### (1) 会長あいさつ

お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は議題として6点ございますので、よろしく願いいたします。平成28年度より、地域包括支援センター運営協議会で認知症初期集中支援チーム検討委員会を兼ねていくことになっておりますのでその報告がございます。身近でありながら難しい議題ではありますが、よろしく願いします。

#### (2) 議題

##### 地域包括支援センター運営協議会

ア 令和3年度地域包括支援センター運営状況及び令和3年度地域包括支援センター決算状況について

- ・事務局（地域支援係）から資料1により説明
- ・事務局（碧南社協地域包括支援センター、碧南東部地域包括支援センター、碧南南部地域包括支援センター）から資料2により説明

事務局 ) 資料の訂正 5ページ(6)地域包括支援センター周知・介護予防啓発事業(ア)ふれあいいいきサロン 3年度実績  
誤)市包括 2会場 42名 正)南部包括 2会場 42名

A委員 ) 協議体(7ページ)が各地区で開催されているが、地区により開催回数の差がかなりあり、特徴が出てきていると思われる。回数が多いところは活発に自主的に機能しているのか、少ないところは何か理由があるのか、現状はどうか。

事務局 ) 棚尾・大浜地区を担当する南部地域包括支援センターより回答  
開催回数の最も多い棚尾地区はまちおこしの会、自主防災会など地域の方が主となる活動が活発に行われている。まちおこしの会は民生委員、地区

の各団体の代表者等が月1回集まり話し合いを行っている。自主防災会は訓練を毎年継続的に実施し、話し合いも定期的に行っている。

大浜地区については、地区の範囲が広く、状況も違うため、地域課題も小地域で違いがあり、全体での話し合いが進んでいない現状があります。今後は小地域で話し合いができるよう検討中です。

A委員 ) 収支決算の報告資料が地域包括支援センターで違うが理由があるのか。同じ形であると委員としてはわかりやすい。

事務局 ) 令和3年度から南部地域包括支援センターが開設しておりますので、今回初めて2つの法人から収支決算の報告を提示しております。委員が言われるとおり同じ形での報告を検討、調整しましたが、収支計算書は単年度、事業活動計算書については、南部地域包括支援センターが今回初めての報告となるため、開設準備としての備品など減価償却できるものも示していきたい法人の意向もあり、減価償却額が含まれた形として活動計算書で報告させて頂きました。今後、どのような形で報告させていただくか検討してまいります。

イ 令和3度高齢者虐待対応について

・事務局（地域支援係）から資料3、4により説明

A委員 ) 8050、7040問題。高齢者を子が虐待するという状況がある。DV対応も含め具体的な連携体制について伺いたい。子が仕事もなく地域とのつながりもない社会的孤立者となり追い込まれて結果的に親のお金を当てにするという現状がある。どのように連携し協議しているのか。

事務局 ) 事例により異なるが福祉課、社協（就労支援）、医療が係わっている場合があります。高齢介護課だけでは解決できないため、障害の相談機関、警察などと連携し一例一例丁寧に対応しております。

A委員 ) 行政の中で複合的な事例を共有できるような包括的な体制は整っているのか。

事務局 ) 複合的なケースの振り返りをする場はないのが現状です。高齢者であれば、このような会議を通じ振り返りますが、ここに障害部門、就労部門がかかわっているかということとそこまでの体制には至っていないのが実状です。

ウ 令和4年度事業計画及び予算について

・事務局（碧南社協地域包括支援センター、碧南東部地域包括支援センター、碧南南

部地域包括支援センター) から資料5により説明

(質疑なし)

エ 第一号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業を委託できる居宅介護支援事業所の承認について

・事務局(地域支援係) から資料6により説明

(質疑なし)

会長 ) 特に無ければ碧南市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準等を定める条例第6条に基づき、承認の確認をさせていただきます。承認される委員は挙手をお願いいたします。

委員 ) 全員挙手。

会長 ) 有難うございます。議題(5)は全員賛成で異議がないものと認め、承認されました。今後については、16番の居宅介護支援事業所えぞか福祉かふえおよび17番おおそら在宅介護支援センターが委託できる事業所として追加されますのでよろしくお願いいたします。

認知症初期集中支援チーム検討委員会

オ 認知症初期集中支援チーム活動について

・事務局(地域支援係) から資料7により説明

A委員 ) 認知症初期集中支援チームの概要にある矢印「アウトリーチ」はチームがアウトリーチしているという理解でよいか、アウトリーチに向けてチームが具体的な動き、体制を整えているのか。

事務局 ) チーム員がケースのところへ出向いていることを表しています。看護師、介護福祉士が主にケース宅に出向き、医師にアドバイスを受けながら支援をする体制で活動しております。

A委員 ) 地区のサロン等から把握する、繋がるということもあるため、活動の連動を考えるとよいと思われます。

司会 ) 新聞に高齢者世帯、妻が認知症、夫が首をつって亡くなったという記事がありました。国政調査員が確認に行って高齢者夫婦の生活状況がわかり、地域包括支援センターも関わったがサービスに繋がらなかった、また、75歳以下であったため民生委員の調査対象外であったという状況の中での痛ましい事件でありました。対応の難しさはあるが、様々なところから情

報を把握した場合、いかに対応していくかが重要であると思います。民生委員の皆様、老人クラブの皆様、三師会の皆様、地域の方々と共に対応をしていきたいと思いますので、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

(3) その他

- ・事務局から次回日程の連絡

令和5年2月3日（金）午後1時30分から、市役所2階 談話室3